



拓桃育務班の新たな試み

～「ペレント・トレーニング」と「交流保育」の実践～

拓桃医療療育センター一育務班

保育士 川部早江・工藤益子

はじめに

★拓桃医療療育センターとは…

・肢体不自由児に対する治療・療育を提供

児童福祉法 「医療型障害児入所施設」

医療法 「病院」

★育務班とは…

・子ども達の情緒の安定, 楽しく快適な生活のお手伝い

(保育, 学卒活動, 親子入院児への保育, 余暇活動, 行事, 食事や入浴などの生活介助, 対人関係etc…)

・子どもの思い, 保護者の思いに寄り添いながら

・保育士10名 年中無休の育務班！！

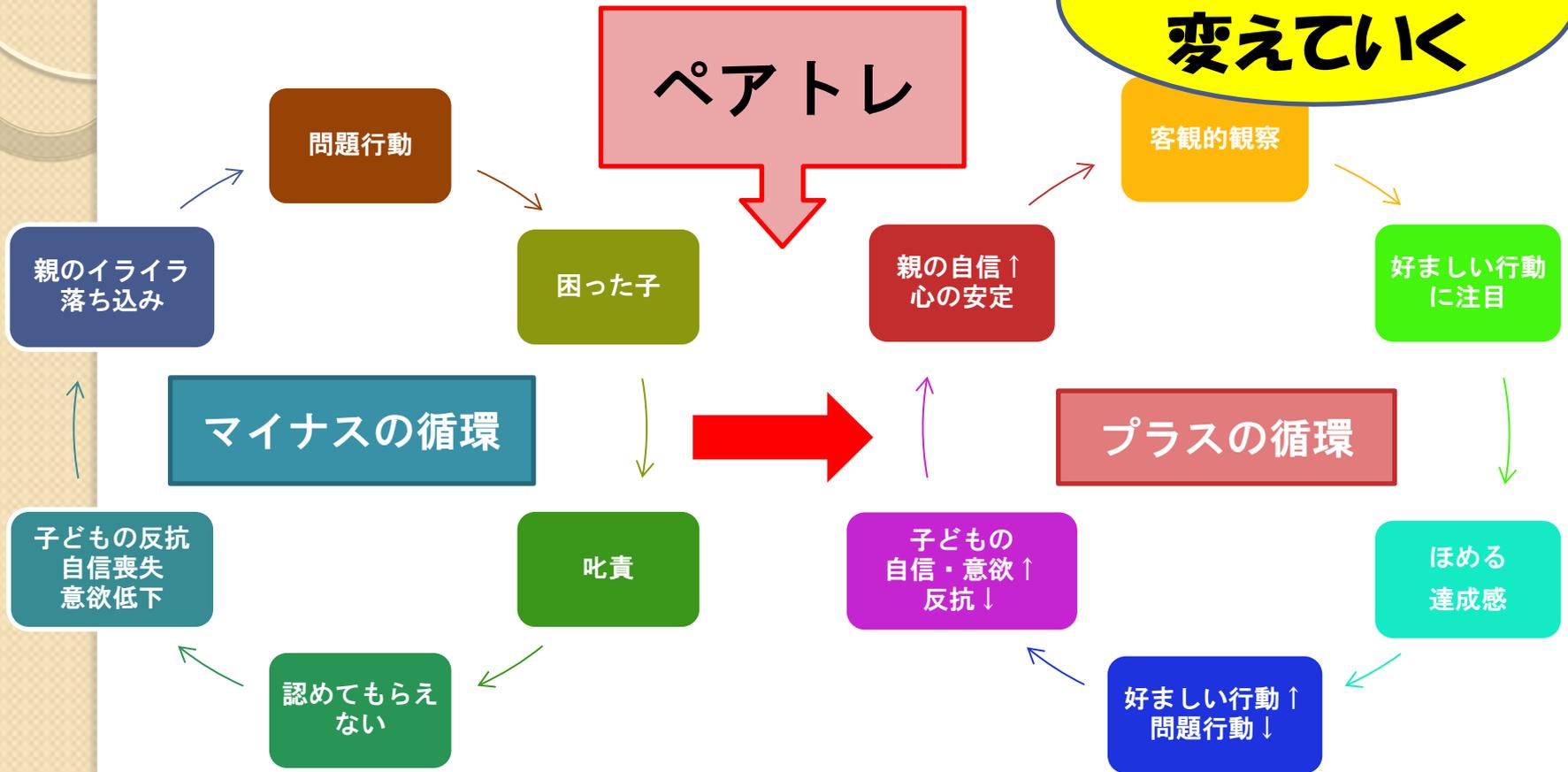
「ペアレント・トレーニング」 目的

- ◆保護者の思いをもっと知りたい(不安・戸惑い・辛さなど)
- ◆子どもの生活, 私たちの関わりを伝えたい
- ◆保護者と共に前向きに療育を!

ペアレント・
トレーニング
(プログラム)

「ペアレント・トレーニング」とは？

親の視点を変えていく



「好ましい行動」 「好ましくない行動」 「許しがたい行動」

「ペアレント・トレーニング」 方法

- **平成25年9月から11月の間に計6回実施**
対象：後天性の障害を患った子ども2名の保護者。

- **平成26年4月から11月の間に計6回実施**
対象：集団保育に参加している幼児の保護者
全員に対して、毎回「ティータイムのお
知らせ」を配布し、希望者が参加。



「ペアレント・トレーニング（H25）」

経過 1

回数	月日	内容
1	9月18日(水) 9:30~11:00	・親の思いを聞く。 ・日めくりカレンダー制作。
2	10月2日(水) 9:30~11:00	・日めくりカレンダー仕上げ。 ・ほめることの大切さを伝える。
3	10月11日(金) 9:30~10:30	・ほめることの大切さを伝える。 ・行動の分類(宿題)
4	10月16日(水) 9:15~10:30	・行動の確認(宿題をもとに) ・家庭生活をイメージ(宿題)
5	10月21日(月) 9:30~10:45	・家庭生活を確認(宿題) ・ペアトレについて ・関わり方を整理
6	11月14日(木) 9:30~10:20	・家庭生活を確認(宿題をもとに) ・ペアトレについて ・関わり方を整理

ほめること

行動確認

家庭生活

「ペアレント・トレーニング(H25)」

経過2 (行動分類表)

好ましい行動	好ましくない行動	許しがたい行動
<p data-bbox="266 996 763 1263">ほめる！！</p>	<p data-bbox="917 882 1700 1263">客観的に見る 知らんぷり 聞き流す 場面を変える</p>	

「ペアレント・トレーニング(H25)」

経過3 (スケジュール表)

時間	子どもの動き	母の動き	家族の動き	心配なこと
6:00				
8:00				
10:00				
12:00				
14:00				
16:00				
18:00				
20:00				
22:00				
24:00				
1:00				

「ペアレント・トレーニング(H26)」

経過 4

生活を知る

- 写真やビデオで紹介
- エピソード紹介
- 安心につながる

自分を知る

- 自分の気持ちに向き合う
- 自分を認める
- 周りに伝える力
- 1人で頑張らない

他人を知る

- いろいろな考えを知る
- 受け入れる力
- 認める力
- 自分が分かる

子どもを知る

- 子どもの性格や能力
- 関わり方
- わが子への愛

グループワーク



ペアレント・プログラム

前向きに

「ペアレント・トレーニング(H26)」

経過5

回数	月日	内 容
1	5月16日(金)	・自己紹介を兼ねて子どもの病気のことや今の心境などを話す。
2	5月30日(金)	・「周りの目」について話す。 ・就学に向けての話題出る。
3	6月13日(金)	・先輩ママからの話を聞く。(パート1)
4	6月27日(金)	・先輩ママからの話を聞く。(パート2)
5	7月18日(金)	・ペルテス児の母同士だったので、家での過ごし方など共通の話題で盛り上がる。
6	10月31日(金)	・自分と子どもの頑張っているところを出し合う。

「ペアレント・トレーニング」 結果

生活を知る

- 安心して心の安定につながる。
- 職員への信頼関係が生まれる。

自分を知る

- 自分の気持ちを吐き出し楽になる。
- 現実に向き合えるようになる。

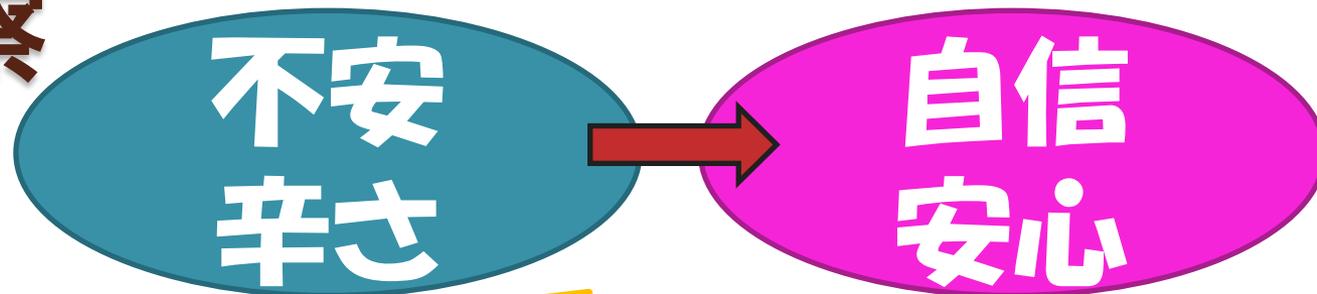
他人を知る

- 「自分だけじゃない」と頑張る力になる。

子どもを知る

- 成長を感じる。
- 愛おしくなる。
- 関わり方を学ぶ。
- 客観的にみられるようになり考え方が変わる。

「ペアレント・トレーニング」 考察



「ペアレント・トレーニング(プログラム)」
あるがままの我が子を受け入れる
「それでいいんだよ」と背中を押してもらう

「子どもの良い面や気になる面を伝えるだけでは、保護者の子育て感情の安定に反映しにくい。子ども行動とそれに対する親としてのかかわりを関連させながら説明すると、即効的ではないが子育て感情の安定に影響している。」

(引用文献:『障害児保育』 澤江幸則ら共著)

「ペアレント・トレーニング」

まとめ

- ・職員が実際に子どもと関わっていることは強み！！
関わり方をフィードバックすることができる。
- ・医療面での心配事は、医療スタッフに相談できるので
安心して取り組める。



拓桃ならではのペアトシの形
様々な障がいに対して応用可能

課題

・日時の設定 ・集団が苦手 ・異なる障がい

「交流保育」 目的

- ◆年齢相応のあたいまえの生活って…
- ◆幼児期に経験できることとしてる？

地域の保育所
との交流

頑張る力

話を聞く力



思いやりの心

考える力

「交流保育」 方法

対象	児童2名(育務班職員2名付き添い) 来年度就学予定の年長児童。知的な面で問題なく、保育所・幼稚園での集団生活未経験または短い児童。
実施日	9～11月(月に1～2回) 計5回
場 所	近隣の公立保育所
内 容	年長児クラスの保育に参加
備 考	保護者・主治医・他部署スタッフと事前打ち合わせ実施。

「交流保育」 結果

あんなことも
こんなことも
できるんだ。ぼくも
やってみる！



やる気

子ども達からの良い刺激や発見

どこにいれば
いいの？
なにをあそん
だらいいの？



不安など

- ・ 経験不足
- ・ 新しい環境になじめない
- ・ 楽しさの共有難しい

「交流保育」 考察

課題を
整理

他部署と連携し、保護者とシュミレーション

安心して
就学へ

幼児期後期とは、仲間と作り出す生活に向かって、子どもたちの「心」が大きく開かれていく時期である。

引用文献：『心の育ちと対話する保育の本』
山梨大学大学院教授 加藤繁美 著

自分作り
じゅんぷよー!



「交流保育」 まとめ

子どもは子どもの中で育つ！！

- ・あたいまえの経験
- ・お互いの子どもたちにとって良い経験

課題

- ・早めに計画を立てる。
- ・定期的の実施していく。



子どもたち、お父さん、お母さん
みんなの「体」も「心」も元気になっ
てほしい！！

4月からも
がんばれ！拓桃！！



ご清聴ありがとうございました